退連発１５-１０２号

構　成　組　織　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０１６年４月１８日

　代　表　者　殿

日本退職者連合

会長　阿部　保吉

　　　熊本を中心とする大震災に対する救援等の当面の取り組みについて

　ご苦労様です。

さて、４月１４日以降続いている熊本・大分両県を中心とする大震災に対し、連合本部は、本日１８日午後、事務局全体会議を開いて以下の通り当面の対策を取ることとしました。退職者連合も連合と連携して対応いたしますので、ご協力をお願いします。

記

１．救援対策本部　（１）設置日　　２０１６年４月１８日

（２）名　称　　熊本県を中心とする九州地震対策救援本部

　　　　　　　　　（３）本部長　　神津里季生　会長

　　　　　　　　　　　　統　括　　逢見直人　事務局長

　　　　　　　　　（４）担当局　　総合組織局

２．現地の状況　　連合熊本の事務所は機能不全。内局役職員の人的被害はないが、各自宅の被害がひどく、避難所生活となっている。

３．連合の対応　（１）２０日に逢見直人事務局長と山根木総合組織局長が現地に入

る。

（２）状況を把握次第、連合本部から現地駐在員を派遣する。

（３）カンパについて

　　　①本日から１週間実施する中央、地方での「クラシソコアゲ」

　　　　の街頭キャンペーンを救援カンパ行動に切り替える。

　　　②組織カンパを実施する。なお、振込口座は明日１９日夕方

に開設予定。

　　　　　　　　（４）救援ボランティアについては、現地の状況等を把握しつつ、

　　　　　　　　　　　連合熊本と連携して対応する。

４．退職者連合の対応

　　　　　　　　（１）連合と連携を密にして対応する。

　　　　　　　　（２）組織カンパについては、連合が口座を開設次第、一本化して

　　　　　　　　　　　取り組む。その際、退職者連合のどの組織が振込みをしたか

　　　　　　　　　　　判るようして対応する。

　　　　　　　　（３）地方連合会が実施する「クラシソコアゲキャンペーン」を切

り替えての救援カンパ活動に地方退職者連合はできるだけ協

力する。日時・場所等は、各地方連合会と相談して行う。

以上